

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	入院事業	所管	市民医療センター事務局 総務課
			TEL 2992-1152

事業の目的 (何の為に 行うか)	地域の医療機関や行政機関との連携を図り、二次救急病院として住民要望に呼応した医療機関として入院患者に良質な医療を提供する。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	原則として、市民を対象にしているが、近隣市町村の方に利用されることも多い。	対象とした数	340,203	人
		実際に 利用した数	10,601	人

活動の内容	(何を したか)	当センターは、一般病床49床を持ち、市内かかりつけ医からの紹介患者や救急搬送患者などの受け入れと、民間病院で受け入れ困難な患者についての対応も行っている。							
活動実績	項目名	搬送救急収容人数	142	項目名	入院患者実人数	519	項目名	病床利用率	59.1
			----- 単位 人			----- 単位 人			----- 単位 %

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	504,076	470,706	470,706	44,402.0

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	救急受入率	搬送救急収容人数 / 入院患者実人数 × 100	25	27	108.0
			----- 単位 %	----- 単位 %	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	090100	TEL	2992-1152
事業コード	090103	入院事業	市民医療センター事務部 総務課			
開始年度	昭和 51 年度	→	終了年度	平成 年度		
グループ		医事グループ				

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令			
	分野別計画・指針	医療法・地方公営企業法・地方自治法・所沢市医療センター使用条例及び手数料条例						
	関連・類似事業	外来事業						
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	6節 保健・医療	中柱	3 地域医療の充実	小柱
H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 11 位		実施計画における位置づけ… H19 *** H20 ***						
行政改革大綱における行動計画への位置づけ								
コード	3231	公営企業の経営健全化	コード		コード			
事業開始の背景	都市化に伴う救急医療体制の確立と公的医療機関の整備・充実を強く市民から望まれ、昭和51年9月に地域医療あるいは救急医療を最重点に高度の医療体制を備えた病院として開設した。 なお、より高度の診断治療については埼玉医大、防衛医大、国立西埼玉中央病院等との連携を図る考えのもとに診療科目は、内科・小児科・放射線科の3科とした。							

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)						
	地域の医療機関や行政機関との連携を図り、二次救急病院として住民要望に呼応した医療機関として入院患者に良質な医療を提供する。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方			
	原則として、市民を対象にしているが、近隣市町村の方に利用されることも多い。			年間入院延人数			
対象数	単位	平成 18 年度	337,883	人	平成 18 年度	10,619	人
		平成 19 年度	340,203	人	平成 19 年度	10,601	人
事業の具体的な内容及び実施方法							
当センターは、一般病床49床を持ち、市内かかりつけ医からの紹介患者や救急搬送患者などの受け入れと、民間病院で受け入れ困難な患者についての対応も行っている。							

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>						
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])					
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)					
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
平成19年度中に改善した点							
平成19年10月から、患者のプライバシー確保などのニーズに応えるため、特別療養環境室料を新たに設けるとともに、併せて各種診断書料及び証明書料の見直しを行った。							

収益	収益と事業		平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
	当初予算		454,165	453,964	439,664
	決算(見込み含む)		449,191	471,706	
	補助・負担	一般会計からの繰り入れ	200,824	210,356	
国・県補助金		0	0		
利用者一人あたり(単位:円)		42,301	44,496		
事業費	当初予算		520,324	504,076	522,313
	決算(見込み含む)		461,722	470,706	
	費用内	人件費	333,804	322,283	
		職員数(正職・臨職・嘱託)	正職28.6 臨職3.8 嘱託8.2	正職26.9 臨職2.3 嘱託8.0	
材料費・経費・減価償却費等		122,835	144,200		
	企業償還金・消費税等	5,083	4,223		
利用者一人あたり(単位:円)		43,481	44,402		

⑥指	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	搬送救急収容人数	消防隊による緊急搬送者で入院した方	人	102	142	120	160
		入院患者実人数	(入院者+退院者)÷2	人	727	519	570	730
		病床利用率	年延入院患者数÷年延病床数	%	59.4	59.1	59.5	80
成果分析	救急受入率	搬送救急収容人数÷入院患者実人数×100	目標値	25	25	25	25	
			実績	14	27	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2		
			%	達成率	56.0	108.0	1	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価		
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性	
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性	
<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
明らかとなった課題	病床利用率が伸び悩む中、救急患者や民間病院で受け入れ困難な患者についても、支障なく受け入れできる体制づくりの充実を更に進める必要がある。					
⑧二次評価	今期目標項目(何を)		達成水準(どこまで)		時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定		病床利用率の向上		前年度よりも病床利用率を向上させる。	平成20年度中
	平成21年度における事業の方向性					
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])				
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
評価理由						
糖尿病教育入院を平成20年度から開始し病床の利用を図るとともに、今後も地域医療の要として、救急患者のほか病後の治療が必要な患者や高齢者などが安心して治療の出来る入院環境の整備を継続して推進する。						
評価日	平成20年6月6日	記入者職氏名	総務課長 桑原 茂			

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由	評価日					
⑨個別計画における方向性	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優 先 度 評 価
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
評価理由	評価日						
◎環境基本計画 本事業の左記計画における位置づけ… 無し 計画コード							
◎次世代育成支援行動計画 本事業の左記計画における位置づけ… 無し 計画コード							
基本目標							
主要課題							
施策の方向							

◎環境基本計画 本事業の左記計画における位置づけ… 無し 計画コード							
◎次世代育成支援行動計画 本事業の左記計画における位置づけ… 無し 計画コード							
基本目標							
主要課題							
施策の方向							